

ドアラを探せ＝名古屋駅＝

広島駅にはカープグッズのお土産が数多く取りそろえられている。お菓子も雑貨もアパレルも、とにかく種類が多い。そして店先が赤い。カープのロゴがない、ただ赤いだけで「カープの？」と思ってしまう。なんとなく「広島土産だよな」と思ってしまう。

新大阪の駅はもちろん、黄色である。そうタイガースグッズだ。黄色と黒のツートンカラーもある。「危険」をあらわすサイン色だが、人目を引きつける組み合わせとしてこれ以上のものはない。だから、ついつい手にとってしまう。

ひるがえって、名古屋駅。お土産コーナーにドラゴンズブルーは？残念ながら「一面の青！」ということにはなっていない。

プロ野球の人気がないわけではない。地元のチームといえば「ドラゴンズ」。80年以上の伝統は、ジャイアンツ、タイガースと肩を並べる。

でも、名古屋駅のお土産とは縁が薄かった。きしめんパイはあっても、えびせんべいはあっても、手羽先はあっても、青くはなかった。どちらかというとな茶色である。

それが今年、ちょっとだけ、ちょっとだけ、青くなった。

駅の構内のKIOSKに、ドラゴンズのマスコットであるドアラがひょっこり顔を出した（そんなサインができた）。

ドアラのいろいろ、えびせんべい、お茶、クッキー、そんなお土産が並んだ。

「なごやめし」と言われるように、おいしい食べ物にはことかかない地域である。ドラゴンズの力を借りずとも、十分有名で、そして十分おいしい。それが今年の春、松坂や根尾といったスター選手が話題になったこともあり、ドラゴンズグッズとしてのお菓子がお土産として作られ、そしてKIOSKに並んだ。

グループ会社の社員として感無量である。

とはいえ、楽観は許されない。KIOSKの方に話を聞くと「成績次第ですね」。

貴重な売り場を維持できるかどうかはチーム成績と人気次第だという。「名古屋の人はシビアですから。」

出張や旅行など、名古屋駅で降りたら、駅のKIOSKにドアラを探してください。

見つけることができれば、ドラゴンズがまだまだ強いはず。

ならば、訪問先での会話は「ドラゴンズ調子いいみたいですね」から始めてください。きっと話がはずむはず。つかみにもってこいです。

「ドアラが秋までいますように」 大勢の人が願っている名古屋駅なのです。

中日新聞社 名古屋本社 広告局営業推進部長 杉田 幸司

